

◆ 扇 ベスの小犬

サトーラツオ 1

♥ まなぶといふこと  
詩 あこがれのネパール

飯島貞親 2  
緑川ふみ 4

まなぶといふこと

♠ 棋 詩 あこがれのネパール

飯島貞親 2  
緑川ふみ 4

特集

## 地方議会で見える労働・ぐらし

自治体議会の役割と課題	横田昌三	6
職能代表としての地方議員の可能性	辻 阳	10
コロナ困りどじと相談会に取り組んで	牧田正樹	16
「コロナ感染症 市議会はどう対峙したのか	榎原登志子	14
子どもの貧困をなくすために	阿部浩子	18
「車いすの視点」から広がる可能性	村上 博	20
「海洋放出は安全」を学校でPRさせるなんて	豊巻直子	22
見えない貧困に立ち向かう	金崎昌之	24
学校統廃合に待つた！ を	岡野 勉	26
職場、労働条件の改善を進めたい	篠原重寿	29
自民王国、「富山」で、できるひと	東 篤	31



猛毒のダイオキシンを含む化学物質で、ベトナム戦争で米軍が散布して多くの被害をもたらした枯れ葉剤の原料になつたもので、日本各地の森林にいまも埋められている。近年、相次ぐ豪雨災害などによつて、漏れ出す恐れがあり不安視されている。

製造時に高濃度のダイオキシンが不純物として混入していたが、当初はその毒性が認識されておらず米軍は1961年から10年間使いつづけた。一方、日本では、まだ人体への影響が確認されていなかつた1964年、一般の除草剤として農薬登録され、1968年からは各地の営林署（当時）が散布するようになつた。

当時、スギやヒノキの植林が活発に行われ、成育を妨げる雑草を枯らすために245Tを使用。しかし、ベトナムでの被害が確認されてから、現場の職員たちは散布に強く反対するようになつた。現

### まなぶ論壇 敵基地攻撃能力

国民が理解しないまま進める姿勢に疑問 及川徹也

交渉するにも力が必要、と言われそつ 岡部智子 33

◆私はこう考える

軍事的価値を優先させる暴論

斎藤小百合

### 日本のうしお 世界のうしお

JP労組の22春闘 每回のように事業危機を強調 佐竹 要 51

コロナパンデミックとスポーツ どんな影響か？ 谷口源太郎

51

職場の法律相談 パワハラで退職金がなくなるの？ 小竹広子 59

憲法 3 9条と執拗な排外主義 北川鑑一 62

◆働く現場から キャラバンサライ 38 37

◆数字を疑え

◆スポーツ時評

◆マルボルン便り

42 40 38 37  
50 48 46 44  
◆北から南から  
◆センターと  
◆みんなをつなぐ

カット＝野崎安希子、高野日出見

場の反発を受け、林野庁は1971年に使用を中止した。が、当時の技術では無害化処理をすることができず、地下に埋設して管理するしかなかつた。林野庁は、人の目に触れることがないよう国有林の中に適地を選定。コンクリートの塊にして埋め込むなどして、周辺への流出を防ぎ管理していくことにした。

埋設から半世紀たつたいま、245Tが漏れ出すのではないかという不安が自治体や住民に広がっている。そのため、掘り出して撤去することを想定した新たな対策に乗り出している。土壤を採取して245Tの成分を分析することや、周囲に飛散させずに掘削処理することにしている。

日本の地中に埋まる「負の遺産」を今後どうしていくのか。半世紀前には想定されていなかつた災害の実態をふまえた早急な対策が求められている。また、戦争が終わりいらなくなつた武器が化成肥料や農薬として、第1次産業のなかで当然のように使われてきて多くの問題を引き起こしている事實を忘れてはなるまい。

（林野退職者の会）